

第 128 号  
 発行者  
 公益社団法人  
 広島市身体障害者  
 福祉団体連合会

令和7年の年頭によせて

新たな年の初めに当たり、謹んで皆さまに初春のお慶びを申し上げます。

昨年は、一月一日に発生した能登半島地震に始まり、各地で豪雨災害が続き、九月には復興途中の能登半島を豪雨が襲うなど災害の多い一年だったと思います。改めて、お亡くなりになった方々に哀悼の意を表するとともに、被害に遭われた地域の一日も早い復興をお祈りします。

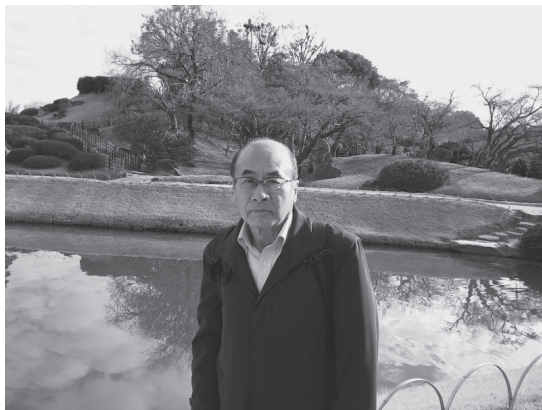
昨年来コロナ禍からの回復により、休止していた当連合会の各種行事も通常どおり行うことができるようになってまいりました。

しかしながら、活動が制限されていた間に、会員間のつながりを保つことが難しくなってきたと感じるところもあり、今年はより一層積極的に活動を展開し、強いきずなを

結び直したいと考えています。

今年一年の皆様のご健勝とご多幸をお祈りするとともに、関係団体様の活動の力強い推進と、当連合会の活動へのご理解・ご協力をよろしく願います。

公益社団法人  
 広島市身体障害者福祉団体連合会  
 会長 向井 助三すけぞう



1/17 中・四国協議会出張で後楽園にて

令和6年度文化研修会

12月1日(日)、広島市総合福祉センター5階の大会議室において、市身連文化研修会を、手話通訳・要約筆記及び事務局を含め50人を超える参加者を得て開催しました。

この研修会は、「加齢に伴うからだの変化と元気で健康な生活を送るヒント」～シニアの車の運転について～という演題で、講師に広島文化学園大学看護学部看護学科教授の棚崎由紀子氏をお招きし、講演をしていただきました。

シニアが、車の運転で注意すべき点や歩行者として気を付けることについて、臨床的見地から、また経験に基づいた具体的な事例を挙げて説明していただきました。

視覚、聴覚、神経伝達、認知機能、運動機能などの複合的な機能の低下を自覚することの大切さや、高齢者の交通事故の傾向と対策(免許証の自主返納も含めて)について丁寧にお話しがあり、参加された皆さんは我が事として熱心に聞き入っていました。

また、棚崎教授から参加者に、実

際の事故を想定した交差点で注意するポイントなどについて質問があり、参加者からは気を引き締めるよい機会になったとの意見が聞かれました。

最後の質疑応答の場面では、棚崎教授の専門である高齢者の健康増進について、フットマッサージや、家庭でもできる入浴方法(ヒートショックの予防、ぬるめのお湯に胸までつかる入浴法の推奨)のアドバイスに加え、実演を交えた簡単なストレッチなどの説明がありました。参加された皆さんも椅子から立ち上がり、真似をして一緒に身体を動かすなど、楽しく充実した研修会となりました。



文化研修会でストレッチの実演をする棚崎教授

### 市身連第4回理事会

10月8日(火)、広島市総合福祉センターで、令和6年度市身連第4回理事会を開催しました。

理事10名、監事3名の出席のもと、令和6年度上半期事業実施報告及び職務執行状況報告の2件の議題が提案されました。

このたびの理事会は、会長は毎事業年度に4箇月を超える間隔で2回以上自己の職務の執行状況を理事会に報告しなければならぬと定めた一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び市身連の定款の規定に基づき行ったもので、平岡事務局長の説明のあと採決が行われ、すべて全会一致で了承されました。

審議終了後、事務局から今後の市身連の事業計画の説明及び協力要請がなされ、理事会は閉会しました。

### 第19回市身連 グラウンド・ゴルフ大会

10月5日(土)、広島市西部埋立第五公園運動広場において、第19回広島市身体障害者グラウンド・ゴルフ



第19回市身連グラウンド・ゴルフ大会参加

大会を開催しました。

前日までの数日降り続いた雨も嘘のようにあがり、汗ばむほどの天候に恵まれましたが、凸凹に荒れたコースを参加者が協力して、ならしてからスタートとなりました。

開会式では、上土井理事(体育部長)から「グラウンド・ゴルフは誰もが手軽に楽しめるスポーツです。お互いに声をかけ合いながら、思いきり笑って体力を付けながら楽しみましょう。」とあいさつがありました。

手話通訳さんやスタッフを含め約20名の参加と、参加者は減少傾向に

ありますが、皆さん参加を楽しみにしていただいています。

各グループ2〜3名の6つのチームに分かれ、8ホールを2ラウンド、元気に明るくプレーされ、一打ごとに一喜一憂して、会場内のあちこちで大きな歓声や拍手があがり、大いに盛り上がっていました。

1ラウンドを20台前半で回られる凄腕の方や、ホールインワンを決める方もおられました。松葉杖を使いながら見事なショットを繰り出す参加者には感動すら覚えました。

表彰式では、障害区分ごとに上位3位までと、ホールインワン賞、たくさん叩いた最打賞などの授与がありました。お互いの健闘を称えながらも、次回の上位入賞を目指すと意気込む姿など、和気あいあいとした雰囲気の中、気持ちの良い汗を流し、親睦を深めました。

### 第48回中・四国身体障害者 福祉大会(かがわ大会)

11月8日(金)に香川県丸亀市の丸亀市綾歌総合文化会館アイレックスにおいて、第48回中・四国身体障害者福祉大会(かがわ大会)が開催さ



中・国身体障害者福祉大会岡村会長あいさつ

れました。

この大会は、中・四国の身体障害者が一堂に会し、全ての人々がお互いに尊重し支え合いながら、共に安心して暮らせる共生社会の実現を目指して、身体障害者が抱える諸課題をアピールするとともに、障害者の自立と社会参加の促進を図ることを目的として開催されるもので、中・四国各地から約700名の参加者が集い盛大に開催されました。

第一部の式典では、公益財団法人香川県身体障害者団体連合会の高橋厚彦副会長の開会のことばから始まり、岡村隆次会長の主催者あいさつ、

池田豊人香川県知事、松永恭二丸亀市長の歓迎のことばがありました。

続いて、各県・市から選ばれた26名の方に大会会長表彰が行われました。広島市からは、高本洋美さん(中区身障協)、清田郁也さん(視障協)、村井一文さん(視障協)の3名が表彰されました。

続いて、社会福祉法人日本身体障害者団体連合会の山根裕副会長、香川県議会の松原哲也議長から祝辞を頂戴しました。また、その他にご出席いただいたご来賓のさぬき市長、直島町長、国会議員(秘書代理)、三豊市健康福祉部長、香川県社協会長が紹介されました。

第二部の議事では、国の関係省庁に要望する提出議案の説明、大会宣言や大会決議(後掲)が採択されました。

また、この大会では、会場内の別室で讃岐うどんボランティア集団の「碧空会」によるゆでたてうどんの提供があり、参加者は本場の味を堪能することができました。

今回は、今年11月7日(金)に高知県高知市で開催される予定です。



中・国身体障害者福祉大会(かがわ大会)会場

【大会スローガン】

○ 災害時の障害者支援体制を早急に確立させよう

○ 障害者差別解消法のより一層の理解促進を図り「共生社会」を実現しよう

【大会宣言】

新型コロナウイルスの影響により、令和元年のえひめ大会を最後に現地開催が見合わせられてきた中、5年ぶりに中・四国各地域から多くの身体障害者及び関係者が、ここ香川丸亀市において一堂に会し「第48回中・四国身体障害者福祉大会

(かがわ大会)」が開催されることは、誠に意義深いことである。

今年一月一日に発生し甚大な被害をもたらした能登半島地震をはじめ、近年、毎年のように日本各地で大規模災害が発生し、中・四国でも平成三十年七月の豪雨災害で多くの仲間が甚大な被害を受けている。災害時に障害者が誰一人取り残されることなく避難でき、避難生活において大きな困難を強いられることにならないよう、個別避難計画の作成、福祉避難所の確保・設置、迅速・確実な情報取得のための体制整備など、国と地方公共団体が一体となつて、災害時の具体的で実効性のある障害者支援体制の整備を早急に講じよう要望する。

また、改正障害者差別解消法の施行により、民間事業者に義務付けられた合理的配慮の取組が円滑に進み、障害者が地域で安心して暮らすことができるよう、国と地方公共団体が一体となって、事業者等への周知・指導の強化と相談体制の更なる充実を求める。

私たち中・四国ブロックの障害者団体は、この大会を契機に、改めて相互の連携をより一層強め、障害の

有無に関わらず、すべての人々がお互いに尊重し、支えあいながら、ともに安心して暮らせる共生社会の実現を目指し、一致団結して行動することをここに宣言する。



ボランティアによる讃岐うどんの提供

【大会決議】

一、民間事業者における合理的配慮の取組が円滑に進み、障害者が地域で安心して暮らすことができるように国と地方公共団体が一体となり、相談体制の更なる充実と事業者等への周知・指導の強化に努めるよう要望する。

一、障害者の個別避難計画について、

行政、福祉関係団体、地域の関係者等が連携し、障害特性に応じた適切な計画が、すべての市町村において早急に作成されるとともに、福祉避難所の確保・設置・強化など、災害時の具体的で実効性のある障害者支援体制の整備促進を要望する。

一、全都道府県が「あいサポート運動」に継続的に取り組めるよう、「地域生活支援事業」の国庫補助率を見直すなど、地方公共団体の財政負担の軽減措置を要望する。

一、障害者が、住み慣れた地域で安心して生活していく上で不可欠な移動手段を維持していくための環境整備を要望する。

一、車椅子使用者が一人で安心して移動できる社会・まちづくりを要望する。

一、視覚障害者の同行援護制度について、地域により一定水準を下回ることがないように是正が図られることを要望する。

一、障害者情報アクセシビリティ・コミュニケーション施策推進法の施行による具体的な環境整備の更なる取組と情報分野のバリアフリー化を一層進めるよう要望す



全国障害者スポーツ大会広島市選手団壮行式

**第23回全国障害者スポーツ大会「SAGA2024」**

10月26日から28日までの3日間、第23回全国障害者スポーツ大会「SAGA2024」新しい大会へ。すべての人に、スポーツのチカラを。」が、佐賀県内各地で開催されました。

る。

障害者が地域で生きがいを持ち、安心して暮らせる社会環境の実現に向け、障害者施策の更なる充実を目指し、以上決議する。

当市身連の向井会長が広島市の選手団団長を務め、24日の選手団結団壮行式から29日の解団式まで、選手24名と役員・スタッフが一丸となつて頑張りました。

その結果、陸上、水泳、ボッチャの3種目で金メダル7個、銀メダル9個、銅メダル6個、合計22個のメダルを獲得しました。

特に、陸上では、皆川選手が、ジャベリックスロー（やり投げのよ）うにターボジャブと呼ばれる羽根付きの投てき物を投げる競技）で39m24cm、走り幅跳びで3m95cmと大会新記録で優勝を飾りました。おめでとうございました。

第24回全国障害者スポーツ大会は、今年10月25日(土)〜27日(月)の3日間、大会愛称を「わたSHIGA輝く2025」、スローガンを「湖国の感動 未来へつなぐ」と掲げ、滋賀県で開催される予定です。

**障害者週間記念事業 2024 文化祭**

障害者週間の記念事業として、2024文化祭が、令和6年12月8日(日)に、広島市中心障害者福祉セ

ンターで開催されました。

今回のテーマは、「みんなの心に輝く金メダル」で、2,700人を超える来場者とボランティアでにぎわいました。

午前10時からのオープニングでは、文化祭のテーマソング「つないだ手と手で伝えよう」を手話と共に合唱のあと開会式に移り、松井一實広島市長から障害者福祉への熱い思いを込めたごあいさつがあり、母谷市議会議長から温かいご祝辞をいただきました。

その後、オープニング広場では、車いすダンス、合唱、ウクレレや和



パフォーマンス広場で披露されたソーラン演舞

太鼓など楽器演奏、ソーラン演舞、笑いヨガ、中国武術・気功、フォークダンスなどが披露され、大きな拍手が送られていました。

障害者への理解と認識を深めてもらうため、各種教室や同好会、デイサービス等で作成した絵画や書、写真などの作品の展示やグループ活動の発表、模擬店の出展がありました。

1階の印刷室では手話体験とバザー、小体育室では野菜や手作り作品の販売やゲームコーナーが設けられ、2階の各諸室では点字体験、陶芸、版画、絵画、写真、書、トールペイントなどの作品が展示されました。3階ではバザーや縄文組みひもづくり、ゲームコーナーやお茶席が設けられたほか、「広島市ピースアートプログラム アート・ルネッサンス2024」の入選作品から厳選された19点が展示されました。

正面玄関横の駐車スペースでは、地域の女性会や福祉団体等による焼きそば、炊き込みご飯、パン、クッキー、コーヒーマシなどの模擬店の出店があり、大勢のお客さんでにぎわい、早々に売り切れる状況でした。

また、会場内の各所に貼りだされ

たクイズに答えると景品がもらえるクイズラリーも盛況でした。

最後にパフォーマンス広場での特別企画として、広島東洋カープ選手との集いがあり、名原典彦選手、前川誠太選手とスライリーが登場し、会場を沸かせました。

両選手には次シーズンに向けての意気込み・目標などのインタビューがされ、初々しい受け答えに会場は笑顔に包まれ、特に名原選手は広島出身ということもあり、会場から熱い声援が送られていました。

最後に行われた選手のサインボールを賞品としたじゃんけん大会と、



インタビューに答える名原選手と前川選手

カープ球団から提供された賞品の当たる「お楽しみ抽選会」でも、口数の少ない両選手と、しゃべらないけれども全身で場を盛り上げるスライリーがプレゼンターとなり、最後まで楽しくにぎやかな文化祭に花を添えてくれました。

**第25回広島市障害者  
フライングディスク大会**

令和6年11月10日(日)にホッストスタッフフィールド広島(広島広域公園陸上競技場)において、第25回広島市障害者フライングディスク大会が開催されました。

障害者の体力維持・増強、機能回復等を図り社会参加を促進する目的で行われるもので、令和7年10月に滋賀県で開催される第24回全国障害者スポーツ大会「わたSHIGA輝く2025」の広島市予選を兼ねたものです。

安森大会委員長の開会宣言に続き、村戸広島市障害福祉課長が開会のあいさつ、幾田審判長より競技上の注意があり、選手宣誓を西川大貴選手が行いました。

秋晴れでほぼ無風の好条件の中、

身体13名、精神1名、知的72名、計86名の選手が競い合いました。

最優秀記録は、ディスクコンントロールの正確さを競うアキュラシー競技の部ではディスクリート5(5m先のゴールを狙う)が10点1人、9点4人、8点5人、ディスクリート7(7m先のゴールを狙う)が9点1人という好成績でした。飛距離を競うディスクダンス競技の部ではメンズ・スタンディング52m75cm、メンズ・シッティングが22m54cm、レディース・スタンディング27m28cm、レディース・シッティング11m43cmでした。



ディスクダンス競技

各身障協だより

◆中途失聴・難聴者協会

第28回全国中途失聴者・難聴者福祉大会 in 平和の都ひろしまが、11月23日(土)～25日(月)の3日間開催されました。

全国から約430名の参加を得て、初日の23日はJMSアステールプラザの中ホールなどにおいて、第一分科会(補聴器・人工内耳部、きこえの健康支援部、国際部合同)、第二分科会(要約筆記部)、第三分科会(耳マーク部)、第四分科会(平



全国中途失聴者・難聴者福祉大会 in 平和の都ひろしま



全国大会を盛り上げる地元中途失聴・難聴者協会の皆さん

和の都ひろしま実行委員会)に分かれて討議を行いました。その後、懇親会に移り、手話ダンスチーム「Sign(サイン)」のアトラクションを観覧し参加者同士の親睦を深めました。

二日目は、同施設の大ホールにおいて、オープニングセレモニーとして、広島市中途失聴・難聴者協会文化部の「天手鼓舞」による和太鼓演奏があり、続いて式典の部に移り表彰や大会決議を行いました。

その後、「聴覚障害者福祉の施策の現状」というテーマで、厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部自立

支援振興室の吉元信治室長補佐に講演を行っていただきました。

また、アトラクションとして、安芸高田市高宮町の羽佐竹神楽団による広島神楽「八岐大蛇」の公演が行われ、観覧者からはその迫力に圧倒され、感動したとの声を頂戴しました。

最終日には、観光ボランティアガイドさんと要約筆記者さんと一緒に宮島観光をしていただき、参加者に広島の魅力を満喫していただきました。

◆安佐南区身体障害者福祉協会 連合会

12月15日(日)、安佐南区身障協連合会福祉大会を佐東公民館において行いました。

- ・みんなが共に支え合い共に生きる共生社会を実現しよう
- ・市身連及び加盟団体との強化を図ろう

をスローガンに開催し、会員43名が出席しました。

来賓として、安佐南区長の代理として安佐南区福祉課寺岡道子課長、同課木原浩子係長及び市身連の向井助三会長にご出席いただきました。

記念講演は、広島銀行古市支店の山藤はるなさんから「新NISAと相続対策について」お話しを伺いました。

最後には、次のとおり広島市への提案を採択して閉会しました。

- ① 災害時に障害者が安全に避難できるように抜本的な見直しを早急に計画していただきたい。
- ② 障害者の移動の安全確保のため道路及び歩道の整備を要望する。
- ③ 視覚障害者や重度障害者の介助者への報酬は、拘束時間中に対するものを支払っていただきたい。
- ④ 障害者の日常生活の安全確保のため既存設備等の整備を要望する。

◆西区身体障害者福祉協会

西区身障協のクリスマス忘年会を開催しました。

令和6年12月22日(日)西区地域福祉センターにて18名の参加でクリスマス忘年会を開催しました。肢体障害者の会「こでまりの会」と合同で毎年行ってきた行事です。

年を重ね多くの参加者が70歳を超え、以前はアルコールをしっかりと飲み、心置きなくカラオケを歌い合っていたものが、今はまずこの会に参加



サンタの衣装の参加者

できる体であることを喜び合い、ピングゲームを挟みながら、相互の近況などを語り合うことが中心になるクリスマス忘年会になってきました。近況交換は日頃楽しんだり、取り組んでいる活動などと共にどうしても病気療養の話が多くなりました。障害を持ちながらの療養のしんどさと、それでも「無理しないがんばり」に共感、「こころのエネルギーを送り合う時間でもありました。最後に益本順市会長のハーモニカ演奏に合わせて、クリスマスソングなど懐かしい歌を唄い、令和7年が穏やかな年になることを願いながら散会しました。

◆肢体障害者福祉協会

令和6年度平和大学(文化研修会)を、1月18日(土)に東区総合福祉セ



秋風亭てい朝氏の落語の風景

ンターにおいて開催しました。講師に、秋風亭てい朝氏をお招きし、日本の伝統芸能である落語の笑いを通して、生きる喜び、希望を体感し明日への活力としていただく催しとしました。当日は、「親の顔が見たい」と「拾い犬」の2席の新作落語を披露していただきました。てい朝氏自身も事故で寝たきりになったお父様の介護を中学生時代からやりやすく、障害者や介護者の気持ちに寄り添った内容のお話しをしていただきました。

最後に、上野会長から、昨年11月2日(土)に予定していたが、悪天候で中止になった今年度の生活行動訓練を3月20日(木・祝)に大竹市の下

瀬美術館見学で実施するとの説明がありました。

お知らせ

◆第20回マーガレットコンサート(障害者と広響とのジョイントコンサート)

このコンサートは、障害者のより積極的な社会参加の促進を図ることを目的に開催されるもので、多くの皆様にご来場いただき、出演する障害者に温かいご声援をいただければと考えており、多くの皆様のご来場を心から期待しています。

開催日時

令和7年3月2日(日)

14時開場、15時開演

(17時 終演予定)

場所

広島国際会議場フェニックスホール(中区中島町1-5 平和記念公園内)

※手話・要約筆記つき

入場料

【前売指定】 S席 2,000円 A席大人1,700円

【当日指定】 S席 2,500円 A席大人2,000円 小人1,000円

主催

広島市(主管・広島ふれあい委員会)

プロگرام

第1部 広響単独演奏

♪ビゼー…アルルの女…ファラン

ドール

♪ドビュッシー…小組曲…小舟にて、メヌエット

♪デュカス…魔法使いの弟子

♪休息

第2部 ジョイント演奏

・和太鼓

♪生命の詩

・ダンスと広響

♪Hero

・合唱・手話歌と広響

♪いい日旅立ち

♪旅立ちの日に

♪あの素晴らしい愛をもう一度

・和太鼓と広響

♪心のふるさと…日本民謡メドレー

お問合せ先

広島市役所障害福祉課

TEL(082)504-2147

FAX(082)504-2256  
お問い合わせ

○受付では、日本ダウン症協会広島支部「えんぜるふいつしゅ」ほかの皆さんがお客様をお迎えします。

○演奏中、声を出すなどする方がいらっしゃるかもしれませんが。演奏者だけでなく、客席にも障害のある方がいらっしゃるについてご理解ください。

○会場地下2階で、作業所による作品展「販売とえんぜるふいつしゅの皆さんによるコーヒーマービスコーナー」を設けます。コンサート前のひととき、休憩時間などにぜひお越しください。

チケット取扱

エディオン広島本店プレイガイド(東棟9階)、ふれあいプラザ(紙屋町地下街シャレオ)、広島市視覚障害者福祉協会(心障センター4階)、広島市身体障害者福祉団体連合会、広島市役所障害福祉課、各区役所福祉課、イープラス ※車いす専用席は、障害福祉課で販売します。

※各区役所福祉課・ふれあいプラザではA席のみ販売します。

祝 表彰受賞者

永年にわたり障害者の自立更生援護にご尽力され、功績のあった次の方々が、12月3日に広島市長表彰を受賞されました。

誠におめでとうございます。

- 中垣 映子 (中途失聴・難聴者協会)
- 内村 惻 (中途失聴・難聴者協会)
- 中村ひろみ (中途失聴・難聴者協会)
- 松尾 弘二 (安佐南区身障協連合会)
- 坂口 月子 (佐伯区身障協)
- 大下 玲子 (佐伯区身障協)
- 白井 利明 (視覚障害者協会)

その他

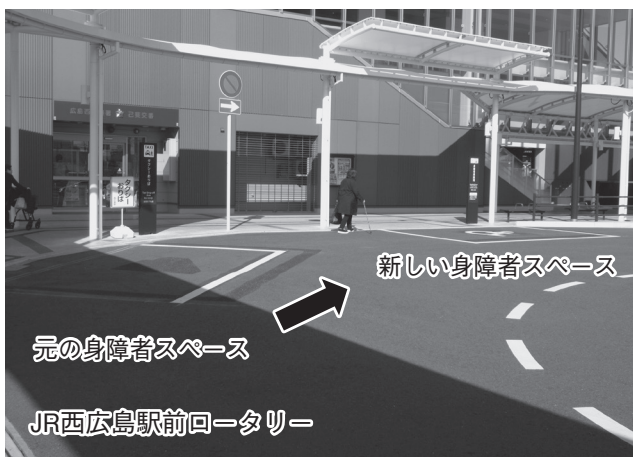
JR西広島駅前ロータリーの身障者用乗降スペースの改修について

JR西広島駅前ロータリーの身障者用乗降スペースについては、昨年5月末からJR西日本の時間貸し駐車場の出入路として利用され、市身連としてJR西日本に対し改善を申し入れていました。

JR西日本からは、身障者用乗降スペースを、その前方にあったタクシー降り場と入れ替えるという対応をしたいと説明を受けていました。が、昨年12月初旬に工事が完了したとの報告を受け、現地を確認しました。

このスペースを利用されておられた方は位置の変更にご注意いただき、利用を差し控えるなどのご遠慮はなさらないようお願いいたします。

今後とも、障害者への合理的配慮を欠いた事案等でお困りのことがございましたら、市身連へご連絡いただきたいと存じます。



《ジパング倶楽部特別会員》

令和8年3月 往復乗車券及び連続乗車券の販売終了に伴う割引適用条件の変更に関するお知らせ

JRグループ発表により、令和8(2026)年3月より往復乗車券及び連続乗車券の販売が終了となります。これにより、ジパング倶楽部特別会員の割引適用条件が下記のとおり変更となりますので、お知らせいたします。

【現在】JR線を片道・往復・連続で201キロ以上ご利用の場合

【変更後】JR線を片道で101キロ以上ご利用の場合

【変更日】令和8(2026)年3月

※詳細な変更日は決まり次第お知らせいたします



赤い羽根共同募金

この会報は、赤い羽根共同募金の助成を受けて発行しています。

発行者 公益社団法人 広島市身体障害者福祉団体連合会  
会長 向井 助三  
〒732-0822 広島市南区松原町5番1号  
BIG FRONT ひろしま5階  
電話 (082) 2633-4452  
FAX (082) 2633-1971  
ホームページ http://shishinren.com/  
編集者 情報宣伝部会  
部長 上野 玲子